**覚　書**

（貸主）○○○○（以下「甲」という。）、（借主）○○○○（以下「乙」という。）、及び（連帯保証人）○○○○（以下「丙」という。）は、甲乙間の令和○年○月○日付金銭消費貸借契約（以下「原契約」という。）に関して以下の事情が発生したことから、次のとおり覚書（以下「本覚書」という。）を締結する。

【事情】

原契約に基づいて発生する乙の債務について、丙が連帯保証人となった。

第１条（連帯保証人）

丙は、乙の連帯保証人として、原契約により発生する乙の甲に対する一切の債務の弁済につき、連帯して保証する。

第２条（原契約維持）

甲、乙及び丙は、本覚書に記載なき事項は、原契約に定めるところによることを確認する。

本覚書締結の証として、本覚書３通を作成し、甲乙丙相互に署名又は記名・捺印のうえ、各１通を保有することとする。

令和　　年　　月　　日

甲　　　　　　　　　　　㊞

乙　　　　　　　　　　　㊞

丙　　　　　　　　　　　㊞